

リフォームかわら版

Vol.43
2023年10月

<発行>
再生工房タカシヨー
鹿児島市東谷山7丁目23-12
TEL.0120-302-666
FAX.099-814-7751

「年を重ねたからこそ」の住環境を考えてみましょう
家中でのケガを防ぎ、生活しやすくするポイントや、
快適さをアップさせるヒントをご紹介します。

みなさまに暮らしと住まいを快適にするためのちょっと役立つ情報を届けいたします。今回のテーマは「年を重ねて考える住環境」です。

年を重ねると、ちょっとした油断でケガをしたり、掃除なども億劫になりがち。少しでも快適に暮らせるヒントをご紹介します。

ケガなどのリスクを減らす住環境にする

・安全のため、床にモノを置かない、敷かないように心がける

床にバッグや新聞などがあると、それにつまずいてケガをする恐れが。床以外に置き場を決めて、床がスッキリするだけでなく、モノの位置が決まり、探しモノも減らせます。モノを置く際、背伸びをしたり、無理にかがんだりしない位置に設定すると、なお良しですね。

・座布団も置きっぱなしにしない、といふのもポイント。年を重ねると、床とじゅうたんの縁という、少しの段差で



たとえば、普段使いのバッグを置くなら、腰高くらいの位置だと、ムリなく取ることができ、中身の出し入れもしやすいです。

・重いモノは下に置く

土鍋や大きな鍋など、重いモノを収納棚の上の方に置くと、出し入れの際に思わぬケガにつながる危険が。

間取りや設備を見直して、より快適に

年を重ねて、リフォームを考える人もいるかもしれません。どんな間取り



玄関ホールに宅配の荷物などのモノを放置すると、出入りの際にじゃまになり、つまずきの一因に。届いたら、すぐにモノを出して片づけましょう。



もつましくことがあるそう。また、座布団を踏んで足を滑らせてしまう恐れが。温かみのある雰囲気は良いですが、ラグやじゅうたん、座布団がないことで掃除がラクになり、大きな敷き物の洗濯の大変さから解放されるといったメリットも。検討の余地ありではないでしょうか？

- ・段差のないバリアフリーが最適！
- ・手すりをつけるならプロに相談を

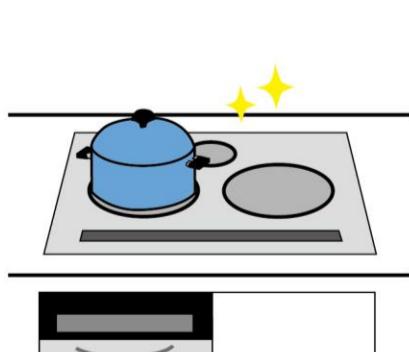
廊下をなくして、LDKや寝室から水まわりに直接行く間取りなら、ワンアクション減らせるので、動きやすく、各段に動きやすくなります。

・動線をシンプルにする

将来、手すりをつけるなら、壁の補強をおすすめします。高さは身長によつてもさまざま。歩行のためのか、つかまり立ちのためのものなのか、用途にもよるので、プロに相談してみるといいですね。

・寝室の環境と扉の仕様も検討を

リビングはもちろん、将来の介護のことでも考えて、寝室も日当たりがいいか、窓から緑が見えるか、など、住環境に配慮すると良いですね。ほかに滑りにくいフローリングの採用や、ドアを開き戸から引き戸にする、歩行のしやすさがアップ。万が一、ほ



キッチンのコンロをIHにするのもおすすめ。着衣着火による重大な事故へのリスクを減らすことができます。

裏面にも役立つ情報が満載！

頭の体操

間違いさがしゲーム

上下のイラストで違うところが5箇所あります。
さあ！チャレンジしてみてね！

答えは裏面をみてね！

